

かたじけな  
 一つの塵の  
 中にだも  
 よもの仏の  
 こもらぬはなし

# 實相寺 花園會報

令和五年  
 六月一日発行  
 発行所  
 臨濟宗妙心寺派  
 陽明山 實相寺  
 實相寺花園會  
 〒761-0450  
 高松市三谷町  
 1811番地1  
 TEL087-889-3838  
 編集発行人  
 山本文匡  
<https://www.jissouji.net>

第170号

## お寺の掲示板

この歌は、たった一つの塵の中に大宇宙の  
 仏様がこもっていることを表現しています。

山本玄峰老師は掃き掃除の時に。「たとえ、  
 塵、ほこりでも丁寧に扱え」とご指導された  
 そうです。たとえ、いま塵やほこりであつて  
 も、もとをたどれば私たちの衣服などであつ  
 たのだから、丁寧に大事に扱えと仰せになつ  
 たそうです。

円覚寺派管長 横田南嶺老大師

『ある日の法話より』 いろはにほへと』より



「今年も沙羅が咲きました」  
 5月24日朝、今年始めて沙羅の花が  
 5輪ほど開きました。その後は段々と  
 花の数が増え、6月1日現在はご覧の  
 様に毎朝沢山の花が咲いています。昨  
 年から庭師さんに2月に寒肥を与え貰  
 っているからか、以前よりも沢山の花  
 芽がついており、見事に咲いています。  
 6月中旬頃までが見頃です。

お盆の棚経について  
 基本的には昨年に準じて、ご自宅で  
 の棚経を希望の方にはお伺いする日時  
 を、お寺での合同供養を希望の方には  
 8月15日のご案内をお送りしますが、  
 「今年は自宅に来て欲しい」とか、「今  
 年はお寺にお参りしたい」などの変更  
 を希望される場合は、6月中にお知ら  
 せ下さい。宜しく願います。

「これからのお寺の役割とは①」  
 少し前、令和4年に生まれた子供の数が、はじめて80万人を切ったということが話題になりましたが、5月1日付の日経新聞によると、昨年1年間に生まれた子供の数は79万9728人で、そのうち東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県で生まれた子供が23万1990人と全体の29%だったそうです。つまり現在、日本人の3人に1人は東京圏で生まれています。かつて1960年頃は5人に1人、90年頃は4人に1人だったものがさらに加速しているようです。

そうすると2050年頃には日本人の二人に一人は東京圏生まれとなるのかも知れません。「そんな馬鹿な!」「そんなことがある筈が無い!」という声

が聞こえてきそうですが、ならないという根拠はどこにもないのです。みんな何となくそう思っているだけで、むしろこれ迄の事実から推測するとそうなるもおかしくないのです。

先月本山で僧風刷新会議という会議が開かれました。この会議は修行僧を指導する老師方はじめ、議員や宗務所長の代表、その他妙心寺派の規則で定められた各種委員会の代表などが集う重要な会議なのですが、ここ数年は特に審議する内容もないことから開かれていませんでした。久しぶりに開催されたその契機は、昨年9月議会で今後の後継者不足への対応を尋ねた私の質問でしたので、委員に事前配布する資料も私が作成しました。

その作成過程であらためて驚いたの

ののだと思います。

会議の本身は、私が「組織のあり方を見直すべきだ」と主張したのに対し、多くの委員方は「人材育成が大切」との意見でした。個人的には出口を整備しないと誰も志望者が来ないと思うのですが、それはさておき。

あらためて「お寺の魅力、宗教の魅力って何だろう?」と考えてみたところ「割り切れないものを受けとめる力」ではないかと思いました。

ここまで筆を進めてきて、一回では書き切れないことに気づきました。中途半端になっても正しく伝わらないと思いますので、「割り切れないものを受けとめる力」については、次回以降に譲りたいと思います。(次号は決算報告がありますので)【続く】

は、このままだと令和22年には修行僧の数が0人になるかも知れないということです。こちらも「そんな訳が無い!」という声が聞こえてきそうです。が、これ迄の事実を踏まえるとそうなります。

これまでは、私自身も何となく修行僧の数が減っているのは少子化のせいだと思っていました。「お寺で生まれる子供も減っているのだから、修行僧が減るのも当然だ」と。そこであらためて、文科省が発表している18歳人口の推移と比較してみたのです。すると修行僧の減少率は、18歳人口の減少率の3.2倍も高かったのです。

その理由は複合的であることが推察されますが、端的にいうと「僧侶になることに魅力がない」ということに尽き